

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	内部障害理学療法演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	302 他
担当教員	堀内 秀太郎 黒崎 智之	実務経験と その関連資格	理学療法士として急性期病院または、回復期病院に勤務。			
《授業科目における学習内容》						
病院や地域を想定した内科系疾患に対して、対象者の自立生活を支援するために必要な課題解決能力(理学療法実践力)を培う。						
《成績評価の方法と基準》						
課題レポート(10%)、筆記試験(90%)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
Crosslink 理学療法テキスト 内部障害理学療法学 MEDICAL VIEW						
《授業外における学習方法》						
事前に指定テキストを読んでおく。授業後、内容の確認をしておく。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書等の忘れ物に注意し、課題があれば提出期限を厳守すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	問診・診療記録などからなぜ理学療法を必要としているかを考えられる	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者① 情報の提示			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	スクリーニング方法について学ぶ	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者① スクリーニング			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	どんな検査をなぜするのか、優先順位について考えられる	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者① 検査・測定			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	問題点のリスクアップとその優先順位を導くことができる	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者① 統合と解釈			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標設定の根拠や介入計画の立案について考える	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者① 目標設定と介入計画			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	SOAPの書き方や実際の臨床の先生の書く内容について学ぶ	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者① 実際の介入経過		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	実際計画通りに行った場合の目標達成状況について考えられる	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者① 帰結評価		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	本症例を通しての学びについて考えることができる	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者① 推論と仮設形成		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	問診・診療記録などからなぜ理学療法を必要としているかを考えられる	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者② 情報の提示		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	スクリーニング方法について学ぶ	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者② スクリーニング		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	どんな検査をなぜするのか、優先順位について考えられる	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者② 検査・測定		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	問題点のリスクアップとその優先順位を導くことができる	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者② 統合と解釈		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	目標設定の根拠や介入計画の立案について考える	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者② 目標設定と介入計画		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	SOAPの書き方や実際の臨床の先生の書く内容について学ぶ	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者② 実際の介入経過		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	実際計画通りに行った場合の目標達成状況について考えられる	テキスト 配布資料	教科書等を用いて講義内容が記載されている箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ケース内部障害患者② 帰結評価		